

北島八穂 児童文学作家。カリエスと闘いながら、深田久弥と離婚後、戦後の児童文学を代表する作家になった。

きたばたけやほ

日比谷公園・1903 = 青森市で大林区署の役人北島慎一郎の第六子次女に生まれる。母は伊代。本名美代。

日露戦争終・1905 = 2歳 :

官吏から材木商になった父のもとで恵まれた家庭に育ち、幼年時代、祖母から聞いた津軽の民話やわらべ唄は強く八穂の心をとらえ、のちの創作の下地になった。

明治天皇没・1912 = 9歳 :

県立青森高等女学校在学中、

大暴落・・・1920 = 17歳 : この頃、**詩や小説を書いて{主婦之友}{婦人倶楽部}に投稿して入選、**

原敬首相暗殺 1921 = 18歳 :

水平社結成・1922 = 19歳 : 卒業後上京し、実践女子大学国文科へ進学したが、

関東大震災・1923 = 20歳 : **脊椎カリエスのため中途退学して帰郷。**

護憲三派圧勝 1924 = 21歳 : 回復後、県内の尋常小学校の代用教員として働くも、

円本時代始・1926 = 23歳 : 脊椎カリエスが再発したため、退職。**病床につくと一層それに傾倒。**

療養中、{改造}に投稿したことが契機となって、編集者深田久弥と恋におち、

世界恐慌・1929 = 26歳 : **上京し、深田久弥と同棲。**

海軍軍縮条約 1930 = 27歳 :

満州事変・1931 = 28歳 :

五一五事件・1932 = 29歳 : 深田に原稿提供し、深田は小説「あすならう」ほか次々発表するも、いずれも失敗。

やがて堀辰雄・川端康成・高見順ら当時の新進作家と交友を深め、

日中戦争始・1937 = 34歳 :

第二次大戦始 1939 = 36歳 :

大政翼賛会・1940 = 37歳 : 入籍し、深田姓となるが、

日米開戦・1941 = 38歳 :

創価学会検挙 1943 = 40歳 : **深田の不実を知るに及び、夫婦間は泥沼状態になる。闘病生活を続けながら、旺盛な創作力で、**

敗戦・1945 = 42歳 : ***実名での処女作「自在人」を発表。**

新憲法公布・1946 = 43歳 : **童話雑誌{銀河}創刊号に初めての童話「十二歳の半年」を書いたのを契機に児童文学作品を書き始め、**

新憲法施行・1947 = 44歳 : **離婚すると同時に、代表作も公表。「女人百様」、**

極東裁判決・1948 = 45歳 : **当時20代だった白柳美彦と同棲を始め、創作集「もう一つの光を」、長編童話「ジロー・ブーチン日記」、**

童話「今女小説 火あり」、

朝鮮戦争始・1950 = 47歳 : 「マコチン物語」、

独立回復・1951 = 48歳 :

TV放送始・1953 = 50歳 : ***「あくたれ童子ゴコ」などで、童話作家としての評価が高まる。**

55年体制始・1955 = 52歳 : 「若ければこそ」、

国連加盟・1956 = 53歳 : 「またなきいまを」、

なべ底不況・1957 = 54歳 :

イスタラマ・1958 = 55歳 : 「未知の界へ」、

安保闘争・1960 = 57歳 :

全国総合計画 1962 = 59歳 : 深田の裏切りや代作について、雑誌{新潮}で仄めかす。

いざなぎ景気 1966 = 63歳 :

ドクショック・1971 = 68歳 : **「すばらしいこと」、「鬼を飼うゴロ」で、**

日中国交回復 1972 = 69歳 : ***第10回野間児童文芸賞とサンケイ児童出版文化賞大賞を受賞。**

石油ショック 1973 = 70歳 :

クランブル事件 1975 = 72歳 : 「北島八穂児童文学全集」6巻、「透きとおった人々」、

田中角栄逮捕 1976 = 73歳 : 「あくたれ童子ゴコ」、

JALハイジャック・1977 = 74歳 : 「うらしまたろう」、

成田衝突・1978 = 75歳 : 「かじやの鬼コ」、「バの次アピ、ピの次アブ」、

革新大敗北・1979 = 76歳 : 「阿母やあい」、

・・・1981 = 78歳 : 「ぼく歩けます」と、**書き続けたが、**

中曽根内閣・1982 = 79歳 : ***閉塞性黄疸症で、没した。**

「日本の女性」、インターネット、